

が多いと言われる。本書から、わが国との共通属と共通種を探したところ、共通属47、共通種30があった。写真や図から、わが国に生育する種類とよく似たものがあることから今後の比較研究が楽しみである。

オーストラリア \$50 で、ABRS (Flora), GPO Box 636 Canberra ACT 2601 Australia に注文する。The Botanical Bookshop, Australian National Botanic Gardens, Clunies Ress St, Canberra. (Postal Address: PO Box 351, Jamison Center ACT 2614), あるいは

North Lodge Shop, The Botanic Gardens of Adelaide and State Herbarium, North Terrace, Adelaide SA 5000. でも取り扱っている。

続刊の IIIB はオゴノリ目、カギノリ目、サンゴモ目、マサゴシバリ目、と、イギス科 (イギス目) について、IIIC はイギス目の残りの3科と、オーストラリア大陸南部沿岸各地と、他の国との関係について海藻地理が論じられて完結する予定とあり、多いに期待される。
(東邦大・理・生 吉崎 誠)

ニ ュ ー ス

藻類学 春のワークショップのお知らせ

藻類を対象として研究を行っている大学院学生を対象に、藻類学の研究技術のレベルアップをめざして藻類学春の学校 (ワークショップ) を開きます。臨海実験所での合宿期間中に講師による講義・実習を行うほか、参加者各自の研究内容の紹介と討論を行い、交流をはかりたいと思います。多数の志ある大学院学生の参加をお待ちしています。ただし教官のオブザーバー・飛び入り講師としての参加も歓迎します。

期 日：平成7年3月31日-4月2日 (臨海実験所2泊3日)

場 所：神戸大学理学部附属岩屋臨海実験所 (兵庫県津名郡岩屋町岩屋)
神戸大学理学部生物学科 (最終日) (兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1)

講 師：片岡博尚 (東北大学遺伝生態研)
井上 勲 (筑波大学生物科学)
本村泰三 (北海道大学理学部附属海藻研究施設)
川井浩史 (神戸大学理学部生物)

内 容：光生物学実験の基礎 (講義と実習)
藻類の多様性と系統 (講義)
蛍光染色・測光と蛍光抗体法 (実習)
UVレーザー走査顕微鏡 (実習)
研究紹介 (参加者全員) と討論

定 員：約10名

参加費：臨海実験所宿泊費, 食費実費 (約8,000円)

参加希望者多数の場合には参加人数を調整させていただくことがあります。詳細については申し込みされた方に直接ご連絡します。

参加申し込み・問い合わせは下記までご連絡ください。

657 兵庫県神戸市灘区六甲台町1-1

神戸大学理学部生物学科 川井浩史

電話：078-803-0552, 0550 FAX：078-803-0488

Email: kawai@gradura.scitec.kobe-u.ac.jp